



海外の展開を加速

省エネを通じた CO₂削減の取り組み

2015年のCOP21において採択された、地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」。21世紀末までの気温上昇を1.5℃以内に抑えることの必要性に言及したこの協定では、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2℃未満に抑える目標が掲げられました。

住友電工グループにおいても重要なテーマとなっている地球温暖化防止。今回、そのグローバルな展開のひとつとして中国の無錫・蘇州を拠点とした3社の省エネ活動についてご報告します。



WIN-W
Sumitomo Electric Wintec(Wuxi) Co.,Ltd.
住友電工運泰克(無錫)有限公司
生産品目: コイル用の巻線
社 員: 397名



SPW
Sumiden Powder Metallurgy (Wuxi) Co., Ltd.
住電粉末冶金(無錫)有限公司
生産品目: 焼結製品
社 員: 755名



SPEC
Sumitomo Electric Photo-Electronics Components (Suzhou), Ltd.
住友電工(蘇州)光電子器件有限公司
生産品目: 光デバイス・光トランシーバ
社 員: 664名

China

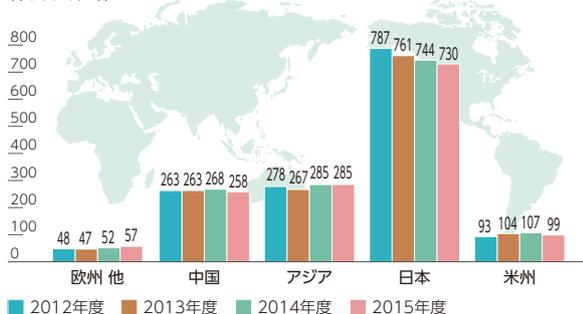
17VISIONの目標クリアを目指し 海を越えて展開する省エネルギー活動

省エネルギー活動をグローバルに展開

「パリ協定」では、温室効果ガス排出量も21世紀後半までに世界全体の生態系が吸収できる範囲に収める目標が掲げられました。

当社グループにとっても、地球温暖化防止は省エネルギー活動に通じるとともに事業におけるビジネスチャンスへとつながる重要なテーマです。中期経営計画17VISIONに合わせて設定した定量指標では、国内外全事業所トータルで温室効果ガス排出量を2012年度比5%削減を目指しています。また製造拠点を対象とする2017年度省エネ目標を、2012年度対比で売上高原単位20%削減と掲げ、省エネルギー活動推進にも取り組んでいます。

グローバル地域別の温室効果ガス排出量
(千t-CO₂e /年)



合言葉は「省エネテーマ積み上げ4%削減」

現在当社グループでは海外、特にアジアでの生産が大きく拡大している傾向があります。これらの国々ではエネルギー効率が国内より低い傾向にあるため、これまで国内の省エネルギー活動で得た知見の展開が急務です。さらなる成果を求め、2008年に開始した省エネ診断活動を2009年より海外事業所においても実施しています。

省エネ診断活動とは「省エネテーマ積み上げ4%削減」を合言葉に、生産条件の変更、品質対策・生産性向上、故障低減などの観点でテーマを取り上げ、主要拠点を巡回して、省エネ活動を掘り下げる活動です。各部門と生産技術本部が一体となって活動しています。今回のレポートでは、さまざまな製品群を生産している中国の3社を訪問し、現地では着実に展開されている省エネ活動の様子をご紹介します。



省エネ診断報告書

